



# あんずだより

特別号③

看護



## おくすりを上手に飲んでもらうためのアドバイス



お薬を上手に飲めた時は褒めてあげましょう。ほめてもらうと子供はうれしくなり、次も嫌がらずにお薬を飲むようになる事があります。また、お薬を飲めないといつ叱ってしまいがちですが、叱られたことが嫌な思い出となってしまう、お薬嫌いになってしまう事がありますので気を付けましょう。

大きいお子さんには、お薬を使う理由を話してみましよう。理由を理解することで、お薬をきちんと飲むようになることがあります。お薬を使って症状が良くなったら、『お薬を飲めたから良くなったんだよ』と伝えてあげることも大切です。

病児保育室あんずでも、朝のお薬を飲むことが出来ずに入室する子や、昼食後のお薬を嫌がったりする子がいます。お薬の中でも粉薬は苦手な子が多く、ご家庭でも飲めなくて困っているとの声を聞きます。そこで、病児保育室あんずでの、粉薬の飲ませ方や工夫していることをご紹介します！



### ☆☆ 粉薬の飲ませ方 ☆☆



水に溶いてコップで飲ませる時は、水の量は一口か二口くらいで飲める量に → します。水の量が多いと飲み終わるまでに時間がかかり、飲むのが嫌になってしまいます。



それでも飲めない時は、スポイトを使用することもあります。

使用する時は頬の内側に少量ずつ流し入れます。一口の量が多いとむせる事があるので注意しましょう。スポイトに慣れてくると自分から吸い付いてチュウ → チュウと飲んでくれることもあります。



### POINT

☆粉薬は、少量の水（一口か二口で飲める程度）で作る。飲み終えたら白湯や麦茶等で口の中をさっぱりさせてあげてください。

☆粉薬は、水か白湯で溶くのが原則ですが、それでも飲めない場合は、少量のジュースやアイス、プリン等味の濃い物に包んで飲ませるのも方法の一つです。（一緒に飲むと苦みが増す、スポーツ飲料グレープフルーツジュースは避けます）

☆飲めた時には必ず褒めてあげましよう！！次もがんばろうという気持ちにさせてあげることが大切です。

発行： 病児保育室あんず 2020年5月22日

